

## □最近の活動状況

## 【2023年度通常総会】

—6月29日(木) クーラクーリアンテ・サンパレス—

講 師 経済産業省東北経済産業局 局長 戸邊 千広 氏

テーマ 「共感」・「協奏」・「変革」ともにつくる東北。

参加会員数 52名

2023年度通常総会が福島市の「クーラクーリアンテ・サンパレス」にて行われました。始めに北村代表幹事が、「今年度は『勉強する福島経済同友会、高めよう福島経済同友会』をテーマに掲げ、今まで以上に勉強する機会を設け、会員が知識を吸収し、地域の活性化に貢献できるよう活動したい」と挨拶されました。総会において、2022年度の事業報告、決算報告に続き今年度の事業計画と予算を審議し、いずれも原案通り可決し、また、新たな事務局長に高城卓也氏が選任されました。

総会終了後、引き続き同会場において経済産業省東北経済産業局 局長 戸邊千広氏を講師にお招きし「共感・協奏・変革 ともにつくる東北。」と題し講演会を開催しました。

## (講演要旨)

近年、EU、ドイツ、オランダなど各国が水素関連の取り組みを強化しています。実は、日本が世界で初めて、水素基本戦略を2017年12月に策定しました。特に福島県においては、2016年9月に「福島新エネ社会構想」を決定し、再生可能エネルギーの導入を拡大するとともに、水素社会実現のためのモデル構築を推進してきました。

東北の景気は回復傾向にあり生産活動が活発です。一方で、有効求人倍率は高く、人手不足が深刻です。人材確保・育成支援として、人材活用ガイドラインに関するセミナーや個社支援、人材マッチングなどに取り組んでいます。

価格転嫁対策として、パートナーシップ構築宣言や、価格転嫁の円滑化に関する地域レベルの協定締結を進めています。3月と9月は価格交渉促進月間として、価格交渉の実態調査と対応指導を行ってきました。さらに、価格交渉を後押しする一環として、価格転嫁サポート窓口を設置しました。

省エネ支援として、単年度でなく3年間の投資計画



北村代表幹事



講師 戸邊千広氏

に対応できる5,000億円規模の補助金を運用しています。海外展開支援では、ジェットロを通じた支援プログラムを提供しています。事業承継に関し、「引継ぎの準備」から「円滑な引継ぎ」「引継ぎ後の経営革新等」まで切れ目なく対応するため、支援者として期待される自治体向けに、セミナーの開催やモデル事業を実施し、ハンドブックを作成しました。オープンイノベーションを促進するため、大学との連携強化や研究開発型スタートアップ支援に取り組んできました。

当局は、「共感・協奏・変革 ともにつくる東北。」の組織理念のもと、これからも皆様と一緒に行動して参ります。

### 【第3回朝食勉強会】

—7月11日(火) クーラクーリアンテ・サンパレス—

講 師 株式会社陽と人 代表取締役 小林 味愛 氏

テーマ 社会課題を解決するビジネスのあり方～福島こそ「群れ」で課題を解決できる～

参加会員数 38名

#### (講演要旨)

公務員としてキャリアをスタートし、その後(株)日本総合研究所を経て、福島の課題解決を目的とした会社「(株)陽と人」を国見町に設立しました。福島の地域資源を生かして、地域と都市を繋ぐ様々な事業を展開しています。規格外農産物の収集と販売や、直近では、あんぼ柿の製造工程で廃棄される柿の皮を活用したコスメブランドを立ち上げています。

日本は人口減少社会に突入したにもかかわらず、農業や他の業界においても、戦後の高度経済成長期に作られた仕組みがまだ主流で、「このままでいいのだろうか。改善できることがあるのではないか。ここにビジネスチャンスがあるのではないか」と考えています。

自分たちの「課題」や「当たり前」が、誰かにとっての「価値」や「魅力」になる可能性があります。福島はそのような課題や当たり前になっている仕組みがまだまだ眠っています。見方を変えることでビジネスの種とな



講師 小林 味愛 氏

るものがたくさんあります。将来世代のために、皆で手を取り合い、各社の役割を接続させながら「群れ」で福島の課題を解決していけば、もっと福島は活性化していくと思っています。

### 【第4回朝食勉強会】

—8月8日(火) クーラクーリアンテ・サンパレス—

講 師 ふくしま医療機器開発支援センター センター長 小林 利彰 氏

テーマ “医療機器産業先進県”として期待される福島 Connected in Fukushima  
～ふくしま医療機器開発支援センターが繋ぐ～

参加会員数 44名

#### (講演要旨)

世界の医療機器産業は右肩上がりです。年々増加しており、年平均成長率は今後も6%前後で続くと見込まれています。日本の医療機器売上は世界の5.7%を占め、第1位のアメリカに次いで、ドイツ、中国に次ぐ僅差の4位となっています。

その中で、福島県には、オリンパス社、ジョンソン・エンド・ジョンソン社、日本ベクトン・ディッキンソン社などの大手医療機器メーカーの工場があり、全国有数の医療機器産業集積地となっています。福島県は2005年から「うつくしま次世代医療産業集積プロジェクト」をスタートし、以来一貫して医療



講師 小林 利彰 氏

機器産業の集積・振興を推進してきており、現在では医療機器生産金額では全国第3位、医療用器具機械用部品等の生産金額では11年連続で全国第1位となるなど、医療機器産業は福島県の主要産業に成長し、医療機器産業の先進県として、近年特に全国から注目され期待されています。

当センターは、東日本大震災からの復興・産業振興を目的に、国の基金を基に福島県が2016年に設立し、医療機器の開発や医療機器産業参入に関する「コンサルティング」、ビジネス化に向けた「マッチング」、医療機器開発に必要な「安全性試験」、医療従事者や次世代を担う学生等に対する「人財育成・

トレーニング」までを一体的に支援する“全国初の施設”です。

これからも医療機器開発を支援するため、高い専門性を有するスタッフと、最新の施設設備を備え、全国でも他に例のない広範囲にわたる活動を展開し、医療機器産業の発展のために貢献して参ります。

### 【第5回朝食勉強会】

—9月12日(火) クーラクーリアンテ・サンパレス—

講師 福島県事業承継・引継ぎ支援センター 統括責任者 若菜 正典 氏

テーマ 事業承継の現場から～事業承継の現状、地域で必要なこと～

参加会員数 44名

#### (講演要旨)

経済産業省の試算では、2025年までに70歳以上の中小企業経営者が約245万人となり、現状を放置すると、このうち127万人が後継者未定となる見込みを公表しています。その結果、650万人の雇用と22兆円のGDPが失われると言われていす。後継者の不在によって「廃業→雇用喪失→人口減少・流出→市場の縮小→経営環境の悪化」という負のスパイラルに陥らないためにもいま事業承継が重要です。

事業承継は、早かれ遅かれどの会社にも必ず発生する最も重要な経営課題で、社長にとって最大の仕事です。いつ発生するか分からないため事業承継のコントロールは困難ですが、事前に準備することは可能です。

事業承継には、「親族内承継」「従業員・役員承継」「第三者承継(M&A)」「廃業」の4つの選択肢があります。それぞれのメリット・デメリットがありますが、共通している留意点は「時間がかかる」ということです。

単に承継を引継ぎと考える企業と、承継を機に知的資産を棚卸しなど行い自社の強みと弱みを知り新しい時代に備え飛躍を目指す企業とでは、その後成長・発展に格差が生じます。このため、早い段階から事業承継の準備をスタートさせるこ



講師 若菜 正典 氏

とが重要です。

中小企業におけるM&Aのイメージは、10年前と比較すると約9割がプラスに捉えており、抵抗感が薄れ一般化しています。M&Aは第三者承継を解決する有効な手段の一つとして、また拡大成長の投資ツールとしての活用にも期待できます。

人口減少に伴う影響を最小限に抑えるため、事業承継の支援が必要です。国、県も事業承継に関して多様な支援メニューを提供しています。当センターにおいても、ワンストップ支援機関として、円滑な事業承継を支援して参りますので、今後とも連携、活用をお願いします。

□今後の予定

【第46回経済同友会東北・北海道ブロック会議】

日 時：2023年10月26日(木)  
 会 場：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

【第7回朝食勉強会】

日 時：2023年11月14日(火)  
 会 場：クーラクーリアンテ・サンパレス

講 師：公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 専務理事 戸田 光昭 氏

【第8回朝食勉強会】(詳細決まり次第ご案内申し上げます)

日 時：2023年12月12日(火)  
 会 場：クーラクーリアンテ・サンパレス

講 師：福島国際研究教育機構 理事長 山崎 光悦 氏

【福島経済同友会創立70周年記念式典】(詳細決まり次第ご案内申し上げます)

日 時：2024年1月26日(金)  
 午後3時30分～ 講演会  
 午後5時30分～ 記念式典および懇親会

会 場：ウェディングエルティ

講 師：笹川平和財団 上席研究員 渡部 恒雄 氏

□事務局だより

○2023年6月から9月に入会・変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

新規入会		2023年7月入会 こあみ ひろやす 五阿弥 宏安 (株)福島中央テレビ 取締役会長
	会員交代	
		2023年6月交代 すどう ひでたか 須藤 英穂 とうほう証券(株) 代表取締役社長
		2023年7月交代 たけばやし まこと 竹林 亮 (株)大東銀行福島支店 執行役員福島支店長
		[顧問]2023年8月交代 なかしま もとほる 中嶋 基晴 日本銀行福島支店 支店長

●退会 村上 敬子 (株)サステイナビリティ・代表取締役

引続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(2023年10月1日現在 会員数103名)

編集日誌

- ◇台風13号により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。
- ◇記録づくめの暑さとなった今年の夏。福島市では、8月全日30℃超え!!年間の猛暑日回数34日など、全国各地でも暑さの記録を更新し、観測史上最も暑い夏でした。
- ◇9月も後半に差し掛かり、ようやく暑さも陰りを見せ始めました。
- ◇早朝から蝉が大合唱していた夏から、気がつけば日が落ちる時間も早くなり、夕方になると草むらからコオロギの鳴き声が聞こえてくるようになりました。静かな夜に耳を澄まし虫の声とともに秋へと変わりゆく、ゆったりとした時間を楽しみながら、猛暑疲れを癒しています。(今野)